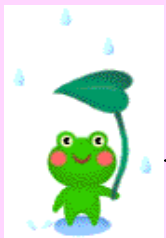


令和6年度1月号

# 算数・数学チャレンジクラブだよ



新雪に足跡がくっきりと  
残るように、学びの軌跡の  
残し方をカンガエル♡

(公財) 金沢子ども科学財団

〒920-0865 金沢市長町3丁目3番3号  
Tel: 076(221)2061 Fax: 076(221)2062  
e-mail [kodomokagaku-z@kanazawa-city.ed.jp](mailto:kodomokagaku-z@kanazawa-city.ed.jp)

令和6年度の講座も残りわずかとなりました。長引いた暑さの季節や急に訪れた冬の季節でしたが、講座が全て実施できたのは、クラブ員の健康管理に努めてくださった保護者の皆さまのおかげです。本当にありがとうございました。クラブ員の皆さんは、今年度の学びの軌跡が、次年度につながり育っていくように頑張りましょう。

## 今後の講座の予定

今後の講座の予定 (通常の講座時間は 10:00~11:40)

回	月	小学5年生	小学6年生	中学生	特別講座
10回	1月	1月18日(土) A組 「秘宝伝」または 「ジャマイカ」 B組 「立体4目並べ」	1月11日(土) 「三角形の数・四角形の数」	1月19日(日) <small>予定日変更注意</small> 中2 「折り紙と数学」 1月26日(日) 中1 「スプラウト」	算数オリンピックに ふれてみよう講座 2月16日(日)
思考力 検定	2月	2月22日(土) 13:30~ 第2回思考力検定 【申込者のみの受検となります】 受付: 13時~13時15分 (ご都合が悪い場合は午前にできます) 説明・諸注意: 13時20分~ 検定開始: 13時30分 (終了は受検級による)			
11回	3月	2月8日(土) 閉講講座・閉級式 「謎解き 初級」	2月1日(土) 閉講講座・修了式 「あてっこゲーム」	2月9日(日) 閉講講座・閉級式 中1 「循環小数からのプレゼント」 中2 「パスカルの三角形」	算数オリンピック 解法テクニック講座 3月8日(土)

## 重要なお知らせとお願い

① 令和7年度の算数・数学チャレンジクラブの継続申込みは1月20日まで!! (12月号にも掲載)

令和7年度の算数・数学チャレンジクラブの正式な継続あるいは退会の登録を財団の特設サイトで行っています。(チャレンジクラブは中学3年生までの継続が原則です。)

12月17日(火)の朝9時に継続・退会意向調査サイトのURLを記載したメールが小学5年生~中学2年生のクラブ員全員に一斉送信されます。サイトの案内に従いメールアドレスを返信すると回答フォームが届きますので、必要事項を記入して回答してください。お手数ですが期限内にフォームから回答をお願いします。1月21日(火)以降はサイトにアクセスできませんので、ご注意ください。また、電話やFax等での回答はご遠慮ください。メールが届かない場合や、ご不明な点等がありましたら財団までお問い合わせください。

② 冬の算数オリンピック特別講座を2回実施します。

イベントカレンダーの2月16日と3月8日から、申し込みサイトに入れます。たくさんの受講者を募集します。クラブ員の参加料は無料です。

日時	講座名	内容	備考	申込開始
2月16日(日)	算数オリンピックにふれてみよう講座 A・B・C	算数オリンピック問題を解く	クラブ員のみ	12月1日
3月8日(土)	解法テクニック講座	解法テクニック取得	オープンスクール	1月1日

- ③ 第2回目の**思考力検定**は2月22日(土)13時からです。希望者は検定料を持参して長土塀青少年交流センター3階財団事務局松原まで直接申し込みにお越しください。12月から受付を始めています。最終締め切りは1月18日(土)です。原則平日の火曜日から金曜日の朝9時から午後3時まで受け付けます。締め切り以降は受け付けませんので、ご注意ください。受検級の目安は以下の通りです。

受検級	受検級の目安	実施時間	3級	4級	5級	6級	7級	8級	9級	10級
			3級	4級	5級	6級	7級	8級	9級	10級
			中学3年程度	中学2年程度	小学6年程度	小学5年程度	小学4年程度	小学3年程度	小学2年程度	小学1~2年程度
			60分	60分	50分	50分	45分	45分	45分	45分

検定料は、3級：3500円、4級：3000円、5~10級：2500円です。お釣りのないように。

\*11月の思考力検定は合格者が17名出ました。満点獲得も3名いました。合格したクラブ員さん、おめでとうございます。皆さん、次も頑張りましょう。

## 新しい内容の講座から

### ①中学生特別講座『ハノイの塔の原理を知る』

10月20日(日)に中学1年生から3年生の特別講座がありました。上越教育大学の高橋等教授が、「ハノイの塔」のゲームの根底にある数学的原理について教えてくださいました。このゲームは大きい円盤の上に小さい円盤が乗ったものを、A地点からB地点を経てC地点まで移動させるものです。小さい円盤の上には大きな円盤は置けないというルールがあります。円盤の枚数によって、移動の回数が増えてきます。クラブ員は、実際にミニハノイの塔を使って、なん手で移動が完了できるのかを試していました。次に紙テープを順次半分に折っていき、折った回数と折り目の数を調べました。するとハノイの塔の原理と紙テープ半折の原理が同じであることに気付いて驚いていました。



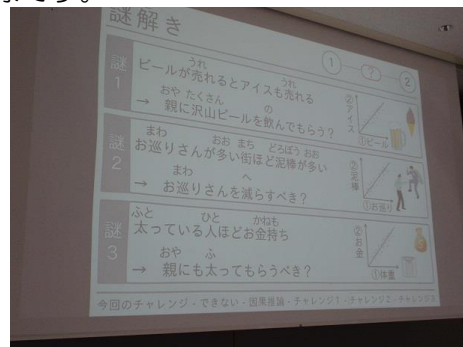
(↑ミニハノイの塔で移動の回数をカウントするクラブ員) (↑2mの紙テープをどんどん半折りするクラブ員)

### ②小学6年生講座『因果推論』

11月23日(土)の小学6年生の講座です。難しい題名ですが、物事の因果関係を推論して最後には真実を見抜くという意味だそうです。例えば、「チョコを多く食べる国」→【因果推論】→「ノーベル賞を獲る人が多い」というデータは正しいか？チョコとノーベル賞は関係がないはずですが、しかし【因果推論】の中に入るのは、【チョコをたくさん食べる国はGDPが高いので国はお金持ちであり、教育にお金がかかれるからノーベル賞を獲る人が多い】ということで、『正しい』ということでした。この他のいろいろな問題でも、最後まできちんと証明ができてスッキリしていました。難しい内容ながら、楽しいと感じたクラブ員が多かった様です。



(↑グループになって因果関係を推論するクラブ員)



(↑呪文のような謎解きがたくさん出題された)